

白糠町地域公共交通会議における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

白糠町は、北海道東部に位置し、太平洋沿岸に沿って東西に国道38号及びJR根室本線が、また、北部を道東自動車道が走っている。面積は773.13km²、人口は7,710人であり、人口の多くが沿岸に集中している。

昭和58年に旧国鉄白糠線が廃止となり、代替交通として、平成30年3月末まで町営バスにより沿線を運行していた。

車に頼った生活への変化、急速な人口減少や少子高齢化の進展などの要因により、公共交通利用者が減少し、公共交通を取り巻く環境は更に厳しさを増している。将来的に地域公共交通が成り立たなくなることが懸念される。

一方、高齢化社会の中で、住民だれもが生き活きと外出し、活動できる移動手段の確保の重要性はますます高まっている。

公共交通を取り巻く現状と課題と多様化する住民ニーズをしっかりと認識し、利便性のある公共交通ネットワークの再編を図るため、平成28年度に策定した「白糠町地域公共交通網形成計画」に基づき、町民の持続的な生活の足を確保するため、これまで運行していた町営バス及び上庶路線(くしろバス)を見直し、新たに町内公共交通を整備したものである。

生活交通確保維持改善計画の目標

- ・市街地コミュニティバスの利用者数 令和元年度目標 10,000人
- ・市街地における公共交通利用圏域 令和元年度目標 75.0%
- ・山間部における公共交通の利用者数 令和元年度目標 855人
- ・車両減価償却費補助の目標 運行補助と同様

令和元年度 事業概要

- (1)茶路沢コース(右股～白糠駅・白糠高校・清和園)
運行便数 (月曜日～金曜日)8便、(土曜日)4便
運賃 200円(定時定路線区間)、200円～500円(デマンド区間)
- (2)庶路沢コース(上庶路～白糠高校・清和園)
運行便数 (月曜日～金曜日)6便
運賃 200円(定時定路線区間)、200円～500円(デマンド区間)

- (3)庶路・西庶路市街地コミュニティバス系統1(庶路駅～白糠高校)
運行便数 (土曜日)2便
運賃 200円
- (4)庶路・西庶路市街地コミュニティバス系統2(庶路駅～清和園)
運行便数 (土曜日)2便
運賃 200円

なお、(2)、(3)及び(4)で使用する車両の購入にあたっては、車両減価償却費等国庫補助金を活用する。

地域公共交通の現況

- ・JR根室本線
(古瀬駅、白糠駅、西庶路駅、庶路駅)
- ・くしろバス株式会社
(白糠線、鶴ヶ岱線)
- ・スクールバス住民利用
(和天別沢)
- ・タクシー(全域)

白糠町地域公共交通会議開催状況

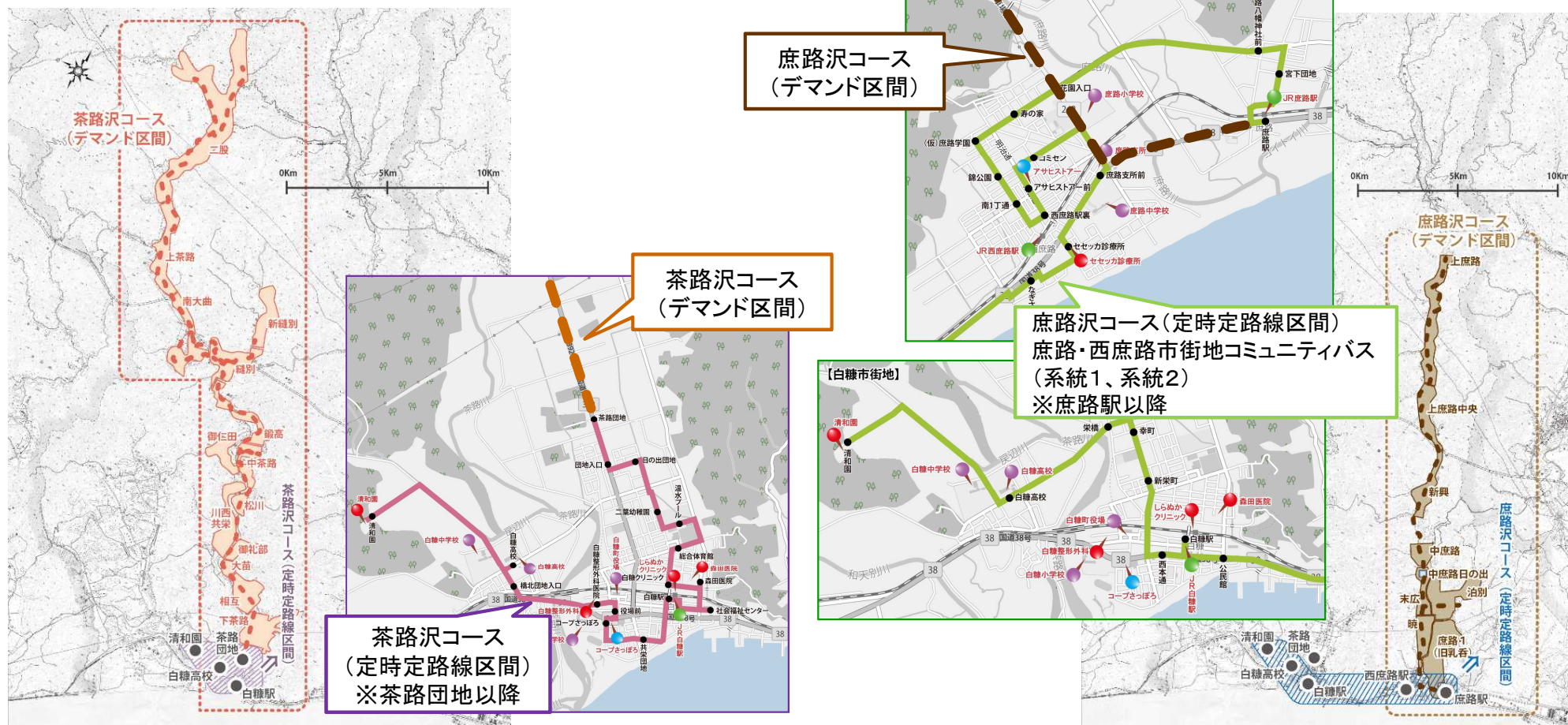
- 令和元年6月20日
地域内フィーダー系統確保維持計画について合意
- 令和2年1月17日
地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金、車両減価償却費国庫補助金)に係る事業評価(案)について、書面会議により開催

令和元年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

- ・平成28年度から平成29年度の間に実施したバス乗降調査、利用者ニーズ把握調査及び実証運行の結果をもとに、運行経路、停留所の位置、運行ダイヤ等の検討を行った。
- ・市街地における交通空白地域の解消のために、これまで路線がなかった地域を経由し、併せて、商業・医療・福祉施設などの生活拠点を結ぶ路線とした。
- ・山間部と市街地を結ぶ路線を予約制バスとし、利用実態を考慮した効率的で利便性の高い運行形態とした。
- ・平成30年4月から本格運行を開始。

2) 運行系統

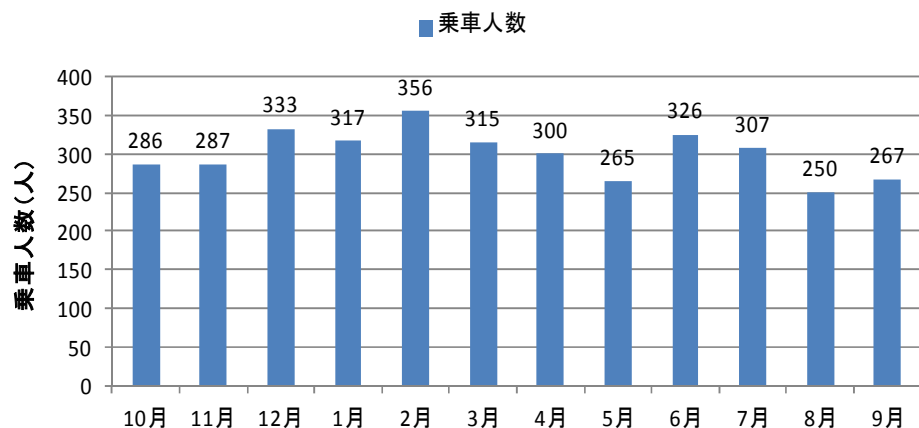


3) 利用実績－①

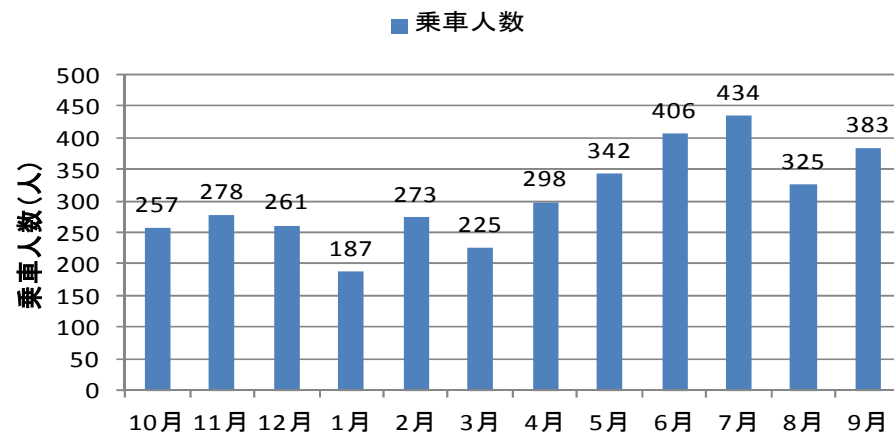
★茶路沢コース R元 3,609人、H30 1,462人

★庶路沢コース R元 3,669人、H30 1,572人

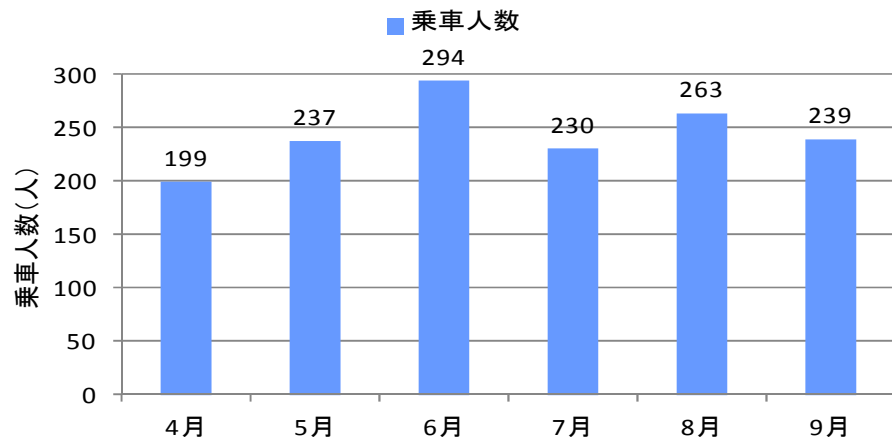
令和元年度 月別乗車人数(茶路沢コース)



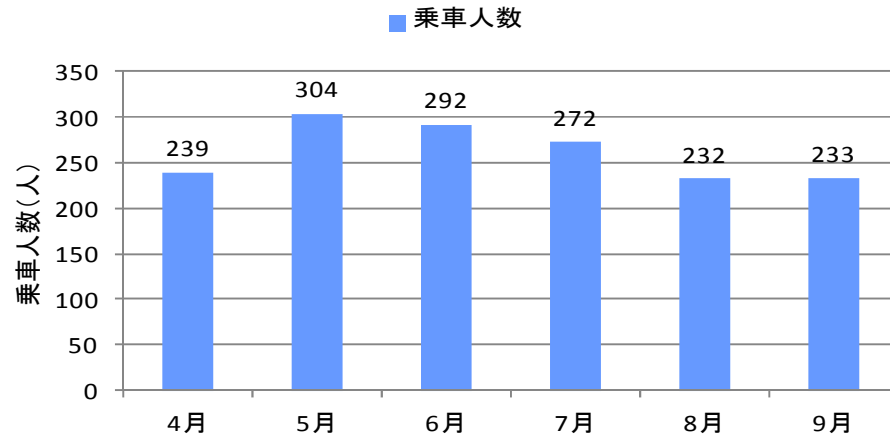
令和元年度 月別乗車人数(庶路沢コース)



平成30年度 月別乗車人数(茶路沢コース)



平成30年度 月別乗車人数(庶路沢コース)

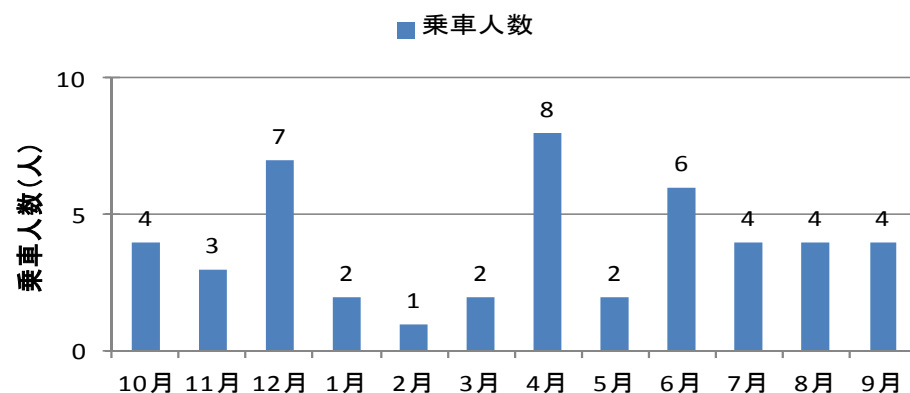


3) 利用実績－②

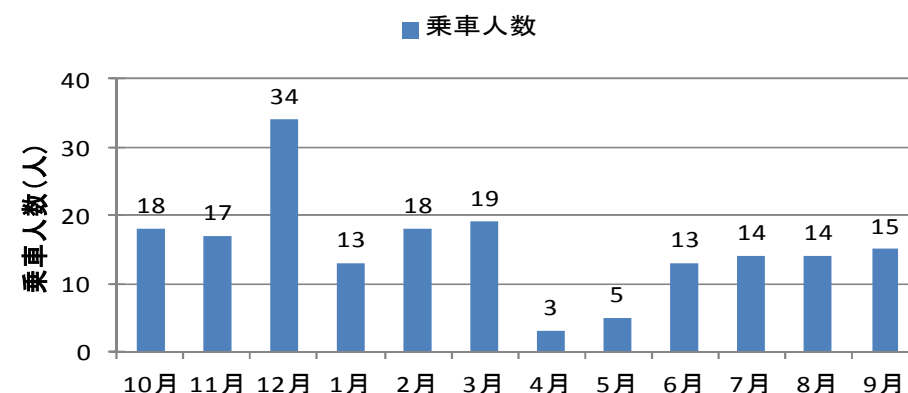
★系統1 R元 47人、H30 16人

★系統2 R元 183人、H30 85人

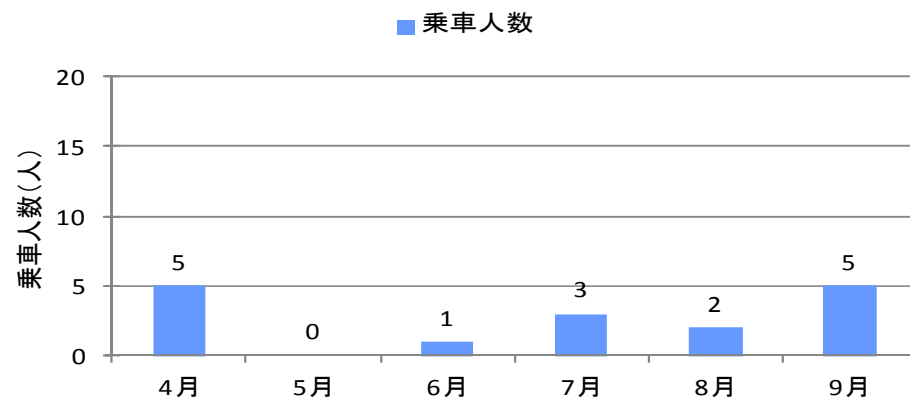
令和元年度 月別乗車人数
(庶路・西庶路市街地コミュニティバス 系統1)



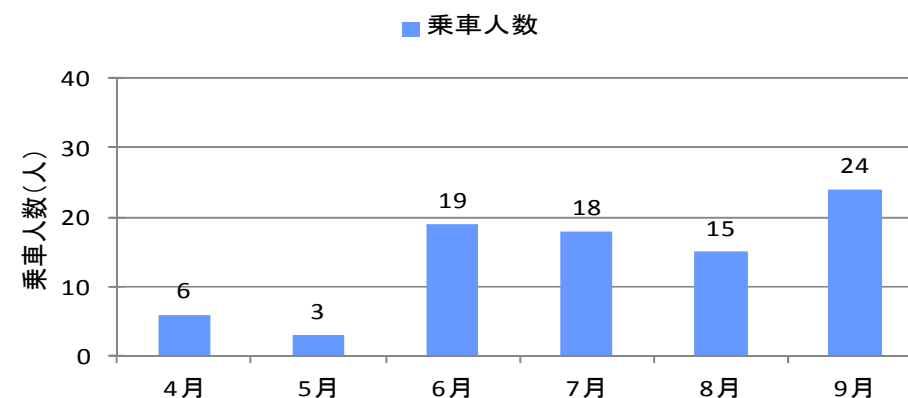
令和元年度 月別乗車人数
(庶路・西庶路市街地コミュニティバス 系統2)



平成30年度 月別乗車人数
(庶路・西庶路市街地コミュニティバス 系統1)



平成30年度 月別乗車人数
(庶路・西庶路市街地コミュニティバス 系統2)

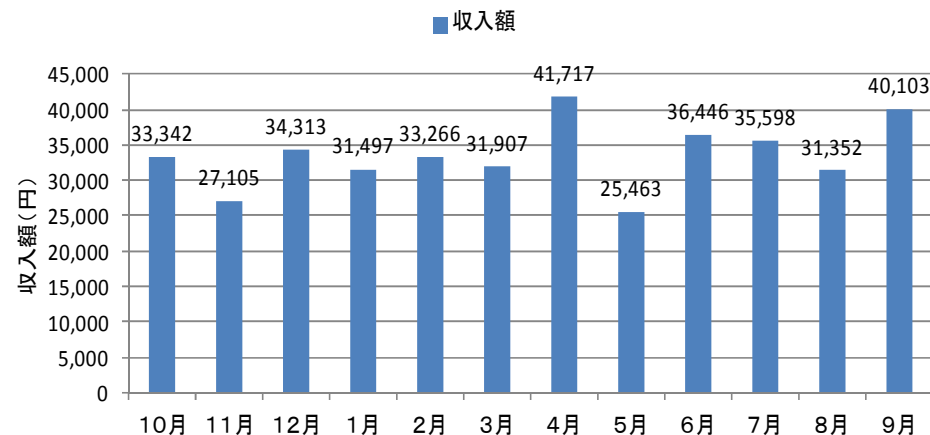


4) 収入実績－①

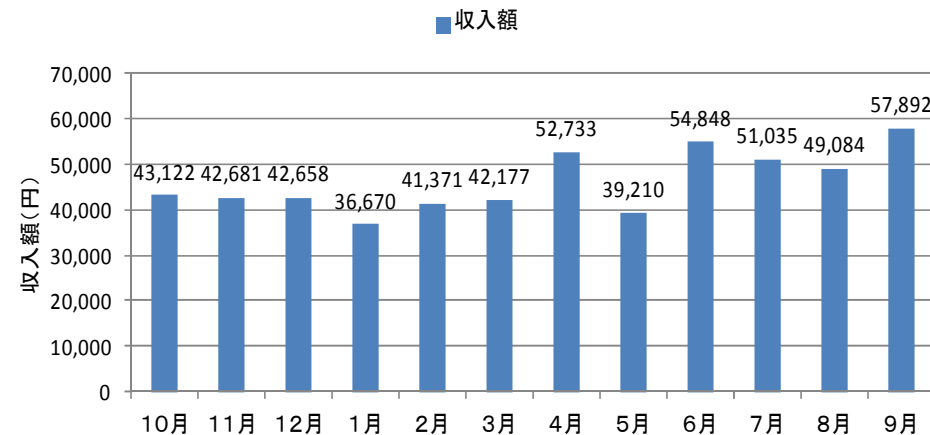
★茶路沢コース R元 402,109円、H30 189,490円

★庶路沢コース R元 553,481円、H30 246,380円

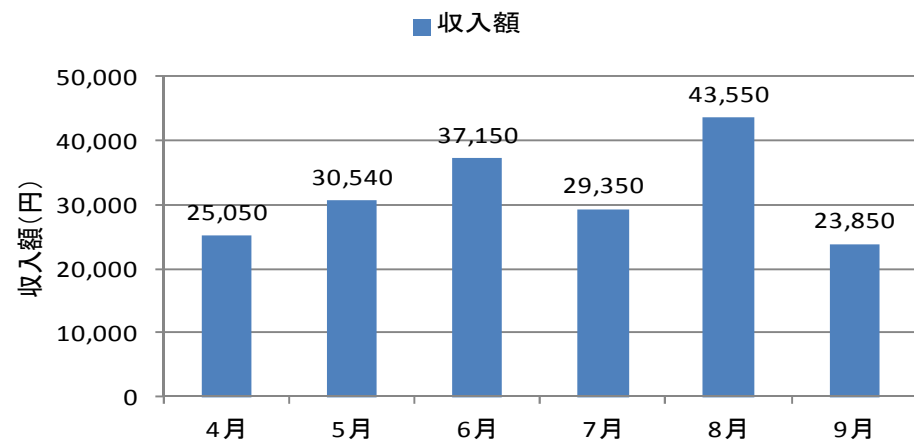
令和元年度 収入実績(茶路沢コース)



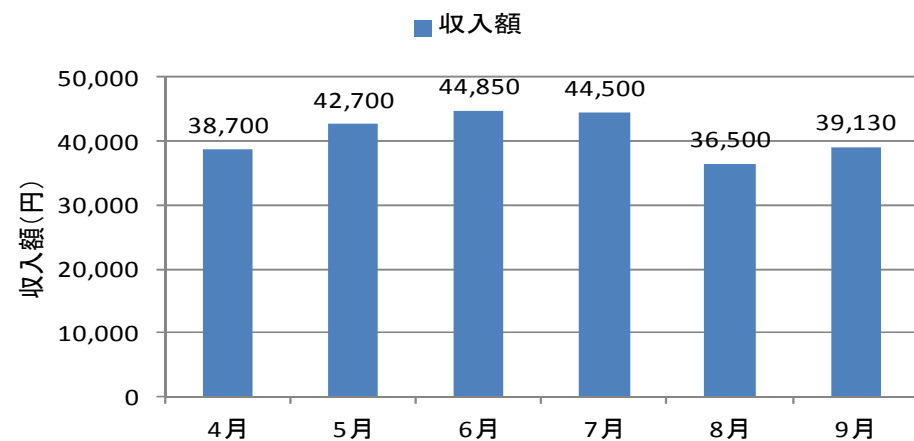
令和元年度 収入実績(庶路沢コース)



平成30年度 収入実績(茶路沢コース)



平成30年度 収入実績(庶路沢コース)

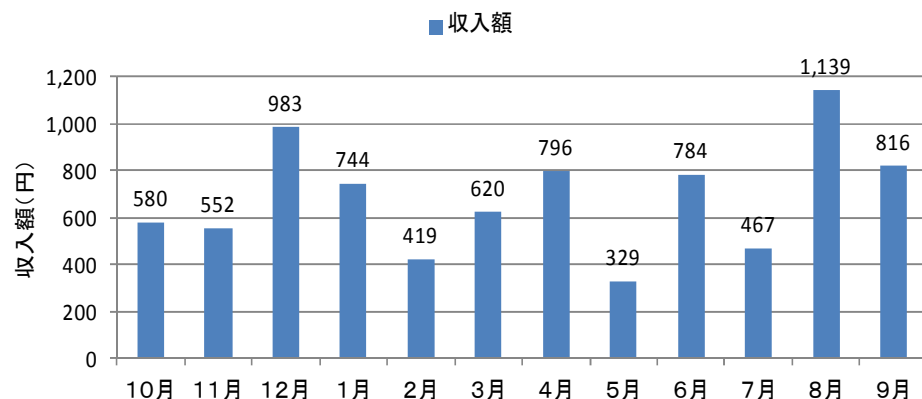


4) 収入実績－②

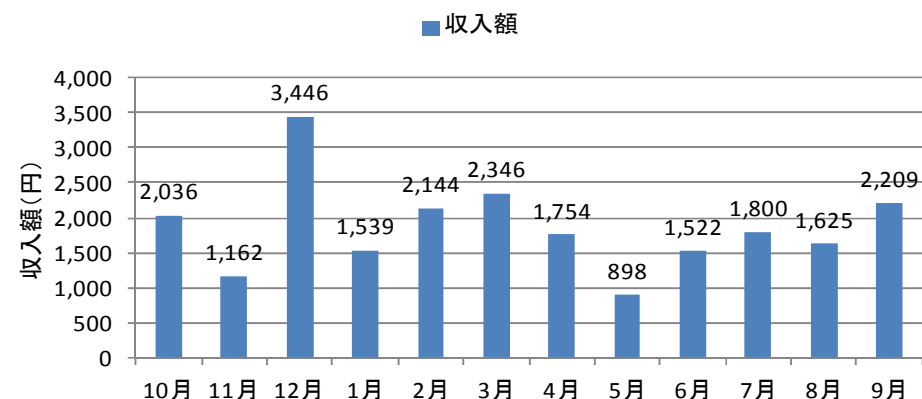
★茶路沢コース R元 8,229円、H30 2,900円

★庶路沢コース R元 22,481円、H30 14,010円

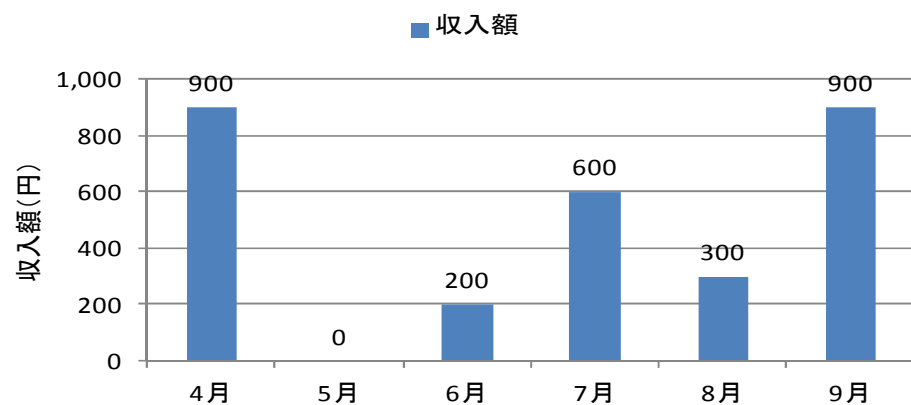
令和元年度 収入実績
(庶路・西庶路市街地コミュニティバス 系統1)



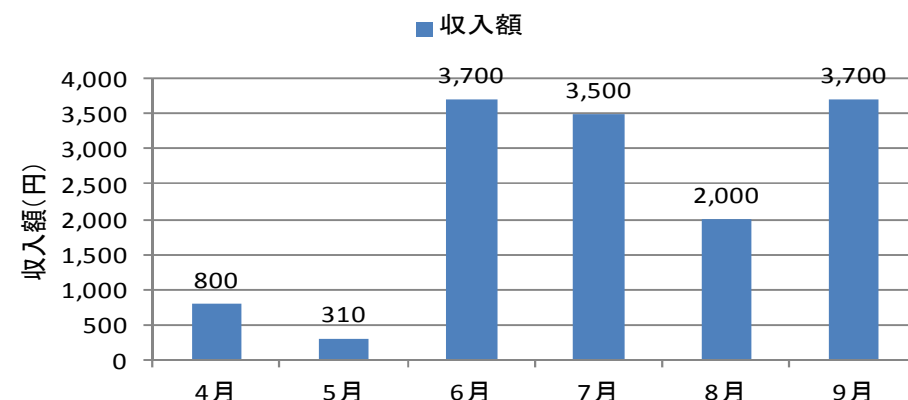
令和元年度 収入実績
(庶路・西庶路市街地コミュニティバス 系統2)



平成30年度 収入実績
(庶路・西庶路市街地コミュニティバス 系統1)



平成30年度 収入実績
(庶路・西庶路市街地コミュニティバス 系統2)



5)事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施された。

市街地コミュニティバスの利用者数

5,725人(令和元年度目標 10,000人)

※補助対象外の系統(庶路・西庶路コミュニティバス 系統1)を含む
市街地における公共交通利用圏域

75.0%(令和元年度目標75.0%)

山間部における公共交通の利用者数

1,783人(令和元年度目標855人)

・市街地コミュニティバスの利用者数が目標を下回る結果となったが、
それ以外の項目については目標をクリアしている。

7)事業の今後の改善点

＜R元年度＞

再編した町営バス事業に対し、町民の生活交通(買い物、通院等)を維持・確保するため意見・要望を整理し、更なる活用を図り地域間幹線系統等との接続による広域移動の確保を図るため、引き続き計画の検証を行う。

8)地方運輸局における二次評価結果

(令和2年度分と併せて評価)